

産業建設常任委員会記録

平成29年2月14日

【開催日】 平成29年2月14日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前11時30分～午前11時44分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	長谷川知司
委員	岩本信子	委員	杉本保喜
委員	松尾数則	委員	山田伸幸

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	尾山信義	副議長	三浦英統
傍聴議員	河崎平男		

【執行部出席者】

建設部長	多田敏明	土木課課長補佐	泉本憲之
土木課主査兼河川港湾係長	山崎誠司		

【事務局出席者】

局長	中村聡	庶務調査係主任主事	梅野貴裕
----	-----	-----------	------

【審査事項】

請願第1号、前場橋から埴生漁港までの市道拡幅工事を求める請願書について

午前11時30分開会

中村博行委員長 それでは、産業建設常任委員会を開催いたします。本日の付議事項については、9月議会で請願が上がりました請願1号、前場橋から埴生漁港までの市道拡幅工事を求める請願書についてであります。まず、12月にこの件につきましては再審査という形になりました。その理由として、山田委員のほうから執行部の説明に若干の瑕疵^{かし}があったん

ではないかというような理由で、そういう提案がありまして、全員一致で再審査。そして継続審査という現在に至っております。そのことにつきまして、皆さんいろいろ吟味されたと思いますので、まずこの件については提案者でありました山田委員のほうから^{かし}瑕疵があったかどうかという点について発言を頂きたいと思います。

山田伸幸委員 これは当初、請願を出されたときに現地視察も交えまして、その結果として一度はこれは不採択ということになったわけですが、その後、住民のそういった意思、特に災害時における急迫性といいますか、実際に埴生地域では二度ぐらいですかね、大きな災害を受けて、皆さんのそういった思いを大切にしなくちゃいけないという部分が抜け落ちておりました。それと、執行部から出されました要望書及び回答書も吟味させていただいたのですが、その中身一つ一つについては至極ごもっともで、^{かし}瑕疵というふうには至らないなという結論は、私自身は持っております。ですから、^{かし}瑕疵というのではなくて、やはり私たち議会がそういった住民の思いを酌み上げるというところで、ちょっと至らなかったのではないかなと今は思っております。

中村博行委員長 ほかに再審査に至った理由について、今、山田委員から発言がありましたように委員会のほうでも若干、捉え方に配慮が欠けた部分があったのではないかというような発言だったと思いますけども、その辺について御意見あればと思いますが。

松尾数則委員 執行部のほうに聞いてもいいの。

中村博行委員長 今回はこちらのほうで判断。たくさん資料を頂きましたので、その資料を御覧になった上での。

松尾数則委員 はい、分かりました。山田委員のほうから今、発言がありましたけれど、あの地域、防災上、あの地域は基本的にはかなりひどい目に

遭われたところですので、防災上ということに関しましては私もそういった内容について是非必要であろうと思っております。その中で、今回出された請願について、地域の方の了解がほとんどもらえているといった内容についてある意味、若干ちょっと疑問があったものですから、それも踏まえて現状としてはこういった結論になったわけなんですけど、今、山田委員が言われたように、防災上という問題については基本的には反対するものではありません。

中村博行委員長　と言いますか、再審査に至った理由について執行部の発言に対して若干の問題があったというような形で再審査に至りましたので、それについては資料をたくさん頂いていますよね。議事録等々、委員会記録、それを御覧になった上で、やはりそれについては山田委員が今、発言されたように執行部の発言には何ら問題はなかったということで判断を山田委員はされたわけですけども、そのことについてのほうを。

松尾数則委員　執行部が述べられたことについて^{かし}瑕疵があったとか、そういうのは全然思っていないし、その辺の、ただもう少しこういうことに至った理由について執行部にちょっと聞いてみたいなど。これは聞く場ではないわけね。

中村博行委員長　はい、ちょっと。

松尾数則委員　場ではないわけね。分かりました。はい。

中村博行委員長　前回、山田委員からそういう提案があつて再審査に至ったわけですけども、ほかの委員がそういう思いで再審査ということがなかったというふうに思います。それを確認するという意味で再審査に至ったということでもあります。ですからこの件については、執行部に対しては不快な思いをされたのではないかという気がいたしております。その辺り、若干の、委員のその当時の気持ちも酌んでいただいて、お詫びを申

し上げたいと思います。

多田建設部長 失礼します。この件につきましては、前回の委員会で御審議いただいた件でございます。発端は要望書が二通出てきまして、その中身自体が違うものと。路線上は一緒なんですけども、違うものということで要望書に対しての正式な回答文をお出しし、今、お手元に資料をお持ちだと思います。この9月議会が終わりましたから請願者も担当部局のところに来られまして、私も窓口対応をいたしました。その中で部局としての意見は理解しちよるよということで、地元の方は御理解を頂いております。やるとか、やらんとかいう話ではなくて、防災上という今、お話もありました。ただ、これは道路面だけではなく護岸面の整備も随時進めております中で、並行して考えていくべき案件であろうと。ただ、道路事情につきましては、やはり今の継続事業を優先せざるを得ない。それで新規事業の段階ではその新規事業で何をやっていくかという土壌にはのせますよという形での御回答を申し上げております。ただ、私自身が現職にいないときの回答文等を見たときに、やはり各々がその文書を各々が自分にとって都合のいいような解釈ができるような回答文が一部あったかなというふうに私は改めて読んだときに思いましたので、これは文書だけを渡すだけで回答というわけではなく、その文書をお渡しした段階でその中身を、言葉を持って、真意を伝えきれていない部分もあったのかなと。また、委員会の中での御審議いただいた中で、十分な資料、また十分な御回答を差し上げたつもりではおりますけども、言葉の中、また現場の視察をいただいて、その段階での費用はどのくらい掛かるのかなとか、そういった憶測における話もした部分があったりして、やはりこの委員会の中におきましても、それだけ掛かるなら、というような前回の採択に対しての影響を与えるような会話もあったかというふうに思っております。その辺りは部局としましても、一切方向性は、ぶれてはおりません。これは請願者に対しても、また委員会に対しても全くぶれた御回答をしたつもりではございません。ただ、こういう形での再審査ということになったときに、私ども部局として申し上げられるこ

とはぶれておりませんので、再度御審議いただければと思っております。この案件をもつてのみではなく、今後慎重審議をいただく案件をたくさん持っておりますので、このことを一つの勉強というふうに部局も捉えまして、今後ますます委員会、また市民の方々には真摯な態度を持って御回答を申し上げていこうと考えておりますので、その辺りは今後ともよろしく願いいたします。

中村博行委員長 ありがとうございます。委員会に対する心遣いと言いますか、配慮も発言の中にありました。ということで、今回再審査に至った理由ということで、執行部に対して委員会として形の上とはなりますけれども、丁寧な御回答を差し上げたいという思いでお越しいただいたという次第です。従いまして、これからはこの請願の審査に入ろうと思しますので、執行部の皆さんにはこれで退席をしていただいてということでもよろしく願いしたいと思っております。どうもありがとうございました。

(執行部退席)

中村博行委員長 それでは改めまして審査に入ろうと思っておりますが、前回私も思いとは別に採決がちょっと拙速であったかなというような気持ちもいたしておりました。そう申しますのが、やはり現地視察に行って、その勢いそのまま委員会、そして採決と。そういう反省を踏まえて、やはり今まで慎重審査をしてまいりました。そしてその当時、口頭で地元からの行政の要望書、1回目、2回目を口頭で聞いただけで、若干理解できない部分があったと。今回12月に全ての資料を頂いております。全部文書で頂いておりますので、そういうことを踏まえて、改めてこの審査をしていきたいと思っております。これに対して何か御意見があればと思っております。

岩本信子委員 私は途中からこちらの委員会に入りました。先ほど言われた最初の分は全然審査しておりません。その中でこの12月に資料を頂いて、いろいろ見させていただいて、本当にやはり議会が住民の意思とかいう

ことを尊重していかなければいけないということも気が付きましたし、やっぱり再審査するということは私もやはり自分もいろいろ分かりましたので、委員として責任を持ってきちんとこれから審査もしていきたいし、ちゃんと結論も出していきたい。そういう思いで再審査にはとても私とすれば良かったという結論を持っております。

中村博行委員長　それですね、やはり前回反省する点は市民から出された請願というのと、議案の審査というのを若干それに近い議案の審査のような結論を導いたという気がしますので、この方向性として、今日はもう方向性だけ確認をしまして、一旦、時を置いて、改めて採決に入りたいと思います。そこで方向性だけでもある程度決めておきたいと。

山田伸幸委員　今の委員長の発言、それから今まで入っていなかった岩本委員の発言を聞きまして、やはり慎重にそういった住民の皆さんの御意向を大切にすることということで、今日正式な委員会ではありますが、一旦閉じていただいて、改めて3月定例会で採決したらどうかと思います。

中村博行委員長　その件について皆さんどうのお考え（「異議なし」と呼ぶ者あり）異議なしですね。はい、そしたら先ほど松尾委員からも防災についてはなんらもう、むしろそれは当然であるというような意見もありましたし、ということでそういう方向性の下に次回の委員会でこれを採決したいというふうに思いますけども、それでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）はい、ありがとうございます。それでは、本日の委員会をこれで閉じたいと思います。どうもお疲れさまでした。

午前11時44分開会

平成29年2月14日

産業建設常任委員会委員長 中村博行